

令和9年度長崎県公立学校
教員採用選考第1次試験問題

教科・科目

高校 商業

受験番号

氏名

実施日 令和8年5月10日（日）

令和9年度長崎県公立学校教員採用選考試験

<h2 style="text-align: center;">高校商業</h2>

※ 解答はすべて解答用紙の該当欄に記入すること。

1	以下の各問いに答えよ。
---	-------------

問1 企業内外のコミュニケーションについて、最も適当なものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 会議や打ち合わせでの発言や指示はフォーマルで直接的なコミュニケーションであるが、部下から上司への個々の報告・連絡・相談はインフォーマルコミュニケーションである。
- イ. 同一の話題で話せる仲間どうしや企業内の同好会、同期会、県人会などの非公式の組織内のコミュニケーションはインフォーマルコミュニケーションである。
- ウ. 従業員のプロフィールや人事異動・冠婚葬祭のお知らせなどの社内報はインフォーマルな間接的コミュニケーションである。
- エ. 顧客への対面販売はフォーマルな間接的コミュニケーションである。

問2 政府などが公表している主な経済指標について、作成機関が内閣府であるものを、次の解答群から3つ選び、記号で答えよ。

〔解答群〕

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ア. 景気動向指数 | イ. 家計調査（消費支出） |
| ウ. マネーストック（通貨量） | エ. 労働力調査（完全失業者数） |
| オ. 機械受注統計調査（機械受注） | カ. 貿易統計 |
| キ. 国民経済計算（GDP 統計） | ク. 国際収支統計（貿易・サービスの収支） |
| ケ. 消費者物価指数 | |

問3 私企業のうち、無限責任となる出資者がいるものを、次の解答群から3つ選び、記号で答えよ。

〔解答群〕

- | | | |
|---------|-------------|---------|
| ア. 株式会社 | イ. 有限責任事業組合 | ウ. 合名会社 |
| エ. 合資会社 | オ. 協同組合 | カ. 合同会社 |
| キ. 個人企業 | | |

問4 国内総生産（GDP）について、次の文の（①）～（③）に入る語句を、下の解答群から1つずつ選び、記号で答えよ。

国内総生産は、1年間に国内の経済主体が生産した（①）の価格から生産過程に投入された（②）の価格を除いた差額を一国全体で集計したものをいう。単純に合計した名目GDPと（③）の変動を考慮した実質GDPの2種類がある。

〔解答群〕

ア. 商品やサービス	イ. 中間生産物	ウ. 商品
エ. 物価水準	オ. 金融	カ. 無形の便益

問5 「シャンプー、一般食料品、雑誌、お菓子など」は消費財のうち、次のどれに該当するか最も適当なものを、次の解答群から1つ選び、記号で答えよ。

〔解答群〕

ア. 専門品	イ. 消耗品	ウ. 最寄品	エ. 買回品
--------	--------	--------	--------

問6 身近な地域の問題について、適当でないものを次の中から1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 地域の過疎化は、とりわけ山間部などでは深刻で、限界集落とよばれる問題を引き起こしている。
- イ. 地方では人口が集中する都会よりコミュニティが希薄化しており、独居高齢者や定職を持たない若者などが孤立する社会問題が顕在化している。
- ウ. 多くの地方都市で中心市街地がシャッター通りと化し、活気がなくなってしまっている。
- エ. 買い物をするにも近くに商店がなくなって、高齢者が日常生活に支障をきたす買い物難民という社会現象が問題化している。

問7 仕入原価¥27,000の商品を予定売価の10%引きで販売しても、なお仕入原価の30%の利益を得るように予定売価を付けると、予定売価はいくらか答えよ。

問8 翌年1月31日満期の額面¥2,200,000の手形を、11月8日に割引率年3.65%で割り引くと、手取り金はいくらか答えよ。（両端入れ）

問9 長崎海運株式会社の自己資本は¥32,000,000、当期純利益は¥4,320,000である。自己資本利益率はいくらか答えよ。

2 以下の各問いに答えよ。

問1 マーケティング環境を分析する手法について、次の文章の(①)～(④)に当てはまる最も適当なものを、下の解答群から1つずつ選び、記号で答えよ。

マーケティングを実行する前には、企業内部の環境、企業外部の環境を分析する必要がある。

(①)分析は、マーケティングに影響を与える要因を、企業が持つ強みと弱み、企業が置かれている環境の機会と脅威という四つに分けて分析する手法である。

内部環境を深く分析する方法として、競合企業との競争を優位に進められるかという視点から、企業が保有する経営資源を分析するのが(②)分析で、価値、希少性、模倣可能性、組織の四つを分析する。

一方、外部環境は、経済や社会といったマクロ環境と、競合企業や取引先といったミクロ環境に分けることができる。

マクロ環境の視点から政治的要因、経済的要因、社会的要因、技術的要因の四つの要因を分析する方法を(③)分析といい、ミクロ環境の視点から、業界には対抗度、買い手、売り手、新規参入、代替品という五つの力が働いていると考え、これらの力が小さいほどその業界が魅力的だと判断する分析方法を(④)分析という。

[解答群]

ア. SPA	イ. VRIO	ウ. PDCA	エ. SWOT
オ. STP	カ. AIDMA	キ. PEST	ク. ファイブ・フォーシズ

問2 ポジショニング・マップの作成手順について、次の文章の(①)～(④)に当てはまる最も適当なものを、下の解答群から1つずつ選び、記号で答えよ。ただし、同じ数字には同じ語句が入る。

ポジショニング・マップは以下の(1)～(5)の手順で作成する。

- (1) X軸とY軸を引き、4つの象限をつくる。
- (2) X軸とY軸の片方の端に自社の製品やサービスの(①)に合致する言葉を記述する。
- (3) X軸とY軸のもう片方の端に、(②)な言葉を記述する。
- (4) 自社の製品やサービスが目指す(①)をマップ内に位置付ける。
- (5) 同様に、競合企業の製品やサービスも、マップ内に配置する。

完成したポジショニング・マップの中に競合他社の製品やサービスが重ならない、いわゆる(③)を探す。この(③)を探すためには、ポジショニング・マップの軸に独創的な言葉をあてはめて、競合他社がまったくいないような(③)を見つける(④)なポジショニングを考えなければならない。

[解答群]

ア. 強み	イ. 功利的	ウ. 空き地	エ. イメージ
オ. 便益	カ. 弱み	キ. 創造的	ク. 対照的

問3 市場調査の無作為抽出法について、適当でないものを次の中から1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 単純任意抽出法とは、母集団に一連の番号をつけて、乱数表などにより標本を抽出する方法である。
- イ. 等間隔抽出法とは、系統的抽出法ともいわれ、母集団に一連の数字を割り当て、最初の調査サンプルのみ乱数表などで無作為に選び、あとは等間隔で必要な調査サンプルを選ぶ方法である。
- ウ. 層化抽出法とは、母集団をいくつかの部分母集団に分割し、そのうち1つを無作為に選びだしたあとに全数調査を行う方法である。
- エ. 多段抽出法とは、無作為抽出法を何回かくり返して行う方法である。

問4 今年度の売上高 ¥20,000,000、変動費 ¥8,000,000、固定費 ¥5,040,000 と見積もられた場合、次の 、 に当てはまる最も適当な組み合わせを、下の解答群から1つ選び、記号で答えよ。

変動費率 %

損益分岐点売上高 ¥

〔解答群〕

ア.	① 40	② 12,600,000	イ.	① 40	② 8,400,000
ウ.	① 60	② 8,400,000	エ.	① 60	② 12,600,000

問5 次の価格設定の例では、同時に使用する商品のうち、どちらか一方の価格を安く、または無料に設定することで消費者をひきつけ、もう一方の商品の販売で利益が出るように設定されている。このように設定される価格として、最も適当なものを下の解答群から1つ選び、記号で答えよ。

〔価格設定の例〕

例① 電子辞書端末：29,800 円 電子書籍コンテンツ：500 円～
例② インクジェット式プリンタ：19,800 円 インクカートリッジ：1,200 円

〔解答群〕

ア. ハイ・ロー・プライシング	イ. バンドリング価格
ウ. ライニング価格	エ. キャプティブ価格

問6 検索サイトで検索したキーワードに連動して表示されるインターネット広告の名称として、最も適当なものを次の解答群から1つ選び、記号で答えよ。

〔解答群〕

ア. バナー広告	イ. リスティング広告
ウ. リターゲティング広告	エ. SNS広告

問7 オンライン上で対象商品に関するリサーチ専用のコミュニティを開設し、参加者同士の自由なコミュニケーションの中から情報を収集する実態調査の手法として、最も適当なものを次の解答群から1つ選び、記号で答えよ。

〔解答群〕

ア. デプス・インタビュー	イ. SCAMPER
ウ. MROC	エ. フォーカス・グループ・インタビュー
オ. アイトラッキング調査	

問8 国籍や文化、言語、年齢、性別、障がいの有無や能力差などを問うことなく、できるだけ多くの人が利用できるようなデザインとして、最も適当なものを次の解答群から1つ選び、記号で答えよ。

〔解答群〕

ア. アフォーダンス	イ. アクセシブルデザイン
ウ. プロダクトデザイン	エ. ユニバーサルデザイン
オ. ピクトグラム	

問9 観光庁により、「従来の物見遊山的な観光旅行に対して、これまで観光資源としては気付かれていなかったような地域固有の資源を新たに活用し、体験型・交流型の要素を取り入れた旅行の形態」と定義されたテーマツアーとして、最も適当なものを次の解答群から1つ選び、記号で答えよ。

〔解答群〕

ア. コンテンツツーリズム	イ. コミュニティツーリズム
ウ. アドベンチャーツーリズム	エ. ニューツーリズム
オ. マイクロツーリズム	

問10 観光ビジネスは、そのほとんどがサービスの提供によって成り立っている。サービスの特性として、適当でないものを次の中から1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 具体的なかたちがない。
- イ. 提供するサービスの質や量は、常に全く同じようにすることができる。
- ウ. サービスの提供側と顧客側の協働作業が必要となる。
- エ. 生産と消費が同時に同所で行われる。

3 以下の各問いに答えよ。

問1 次に記述する組織形態として、最も適当なものを下の解答群から1つ選び、記号で答えよ。

長所：行と列という二つの方向から管理する組織形態である。機能別組織の要素を組み入れることで、部門長が異なる事業間でノウハウの共有を促す効果などが期待できる。また、製品ごとの責任者が複数の職能にまたがる調整を担当することで、消費者の声を迅速に製品の設計に反映させる、などの対応が可能となる。

短所：ツー・ボス・システムともよばれる組織で、二人の上司がいるため、両者の命令の内容が対立して部下がどちらに従えばよいか混乱するという問題が生じる。

〔解答群〕

ア. プロジェクト組織	イ. マトリックス組織
ウ. 機能別組織	エ. 事業部制組織

問2 事業活動の基盤である経営資源に該当するものを、次の解答群から4つ選び、記号で答えよ。

〔解答群〕

ア. 品質	イ. 情報	ウ. 経営理念
エ. カネ	オ. 納期	カ. ヒト
キ. モノ	ク. コスト	ケ. 顧客

問3 部下のモチベーションを高める方法について、次の文のうち最も適当なものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 作業者がタスクに対する興味を持っている際は、より大きな効果が期待できるので、外発的動機付けを高める施策を導入すると良い。
- イ. リーダーが部下の職務内容を適切に設計することでモチベーションを高めることができるという考え方を職務設計理論といい、外発的動機付けを高めるために活用されている。
- ウ. タスク自体が単調なものであれば、内発的動機付けを喚起するのは困難なので、成果に応じて報酬を支払うなどの方法で、外発的動機付けを高めると良い。
- エ. 目標を設定することで部下のモチベーションを高めることができるので、達成可能な程度に困難な目標よりも、更に高い目標を設定するべきである。

問4 株主と債権者からの資金調達について、次の文のうち最も適当なものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 株主からの資金調達では、株主に支払う利息はあらかじめ決められており、企業がどれだけ利益を上げても、利息分を返済するだけで良い。
- イ. 株主からの資金調達では、出資は株式の購入と引き換えに行っており、出資を受けた企業には返済の義務がない。
- ウ. 債権者からの資金調達では、議決権を通じて経営に介入されることがある。
- エ. 債権者からの資金調達では、利益が増えるにつれ、配当金の増額を求められることがある。

問5 グローバル化と経済発展について、次の文のうち最も適当なものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 企業の国境を越えた生産プロセスのなかで、価値が生み出され加えられていく連鎖のことをデマンドチェーンという。
- イ. 各国内の経済取引だけでなく、国境を越えた経済取引も、国内取引と同列に行われる市場のことを国際市場という。
- ウ. 消費者はグローバル・バリューチェーンのサービスを使って、国内外の商品を簡単に、時には安く購入できるようになる。
- エ. EC（電子商取引）は、人々が国外で販売されている商品を、自国から直接購入する機会を与えている。これを越境 EC という。

問6 次の文章の (①) ~ (④) に当てはまる語句の組み合わせとして、最も適当なものを下の解答群から1つ選び、記号で答えよ。ただし、同じ数字には同じ語句が入る。

第二次世界大戦が引き起こされた要因の一つには、世界諸国の経済的な対立があったといわれる。同大戦後、この反省にたつて、(①) や IBRD が設立され、1947 年に (②) が締結された。(②) は、関税戦争やブロックのない自由に貿易ができる世界を築くことを目的として、関税の引き下げのほか、輸入数量制限の撤廃などについて、多国間での話し合いで決着しようとする内容の協定であった。しかし、世界経済のボーダーレス化が進むにつれ、取引が多様化し、従来の鉱工業品を中心としたモノの分野のルールを定めた (②) では対応が難しくなった。そのようなことから幅広い問題に対応できかつ協定加盟国間の紛争処理にも強い権限を持った正式な機関として (③) が 1995 年に設立された。

しかし、(③) では、多数に上る加盟国間での意思決定に時間がかかり、成果につながりにくい側面があった。そこで各国は二国間の協定締結を施行するようになった。それらを代表するのが特定の国または地域間で関税を削減し、サービス貿易の障壁などを撤廃し、物品及びサービス貿易の自由化を図ることを目的とする FTA と、特定の国または地域の間において、FTA の要素に付加した形で、投資環境の整備、知的財産権の保護、人の移動の拡大などを図ることを内容とする (④) という協定である。

[解答群]

ア. ① I M F	② G A T T	③ W T O	④ E P A
イ. ① I M F	② W T O	③ G A T T	④ E P A
ウ. ① W T O	② E P A	③ I M F	④ G A T T
エ. ① G A T T	② W T O	③ I M F	④ E P A

問7 GDP について、次の文のうち最も適当なものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア. すべての財の価格が2倍になれば、GDP の値も2倍になる。
- イ. 実質 GDP について、長期的な動きを景気循環、短期的な振動を経済成長という。
- ウ. 経済活動の活発さの指標として GDP をみるためには、物価の変動による影響を取り除く必要があり、この調整を行った GDP を名目 GDP という。
- エ. 物価が持続的に上昇し、以前と同じ金額で購入できる財の量が少なくなる現象をデフレーションという。

問8 商法について、次の文章の(①)～(④)に当てはまる語句の組み合わせとして、最も適当なものを下の解答群から1つ選び、記号で答えよ。ただし、同じ数字には同じ語句が入る。

商法や会社法は、企業に関する法律であり、(①)の特別法である。

企業とは、一般的には、営利の目的で継続的かつ資本的な計算方法をもとに営業活動を行う者と考えられている。そして、商法はこの企業のことを(②)と称している。このほか、店舗その他これに類似する設備によって、物品を売買することを業とする者等は、(③)を行うことを業としない者であっても(②)とみなされ、これを(④)とよんでいる。

〔解答群〕

ア. ①憲法	②会社	③営業	④擬制商人
イ. ①憲法	②商人	③商行為	④付属的商行為
ウ. ①民法	②会社	③営業	④付属的商行為
エ. ①民法	②商人	③商行為	④擬制商人

4 以下の各問いに答えよ。

問1 次の2つの仕訳について、空欄（ ① ）、（ ② ）に当てはまる、最も適当な勘定科目を下の解答群から1つずつ選び、記号で答えよ。なお、※印の勘定科目は省略してある。

（1）A商事振り出しB商事あての約束手形¥1000,000をB商事から裏書譲渡されていたが、満期日に決済されなかったので、B商事に支払い請求した。なお、償還請求の諸費用¥5,000は現金で支払った。

〔仕訳〕

（ ① ）	1,005,000	（ ※ ）	1,000,000
		（現金）	5,000

（2）固定資産税¥3,600,000（4期に分けて分納）の納税通知書と、土地の取得原価に含める不動産取得税¥1,000,000の納税通知書を受け取り、これらを未払い計上した。

〔仕訳〕

（ ※ ）	3,600,000	（未払金）	4,600,000
（ ② ）	1,000,000		

〔解答群〕

ア. 受取手形
エ. 租税公課

イ. 支払手形
オ. 固定資産税

ウ. 不渡手形
カ. 土地

問2 X社は実際原価計算を採用し、製造間接費の計算は部門別計算を行っており、補助部門費は資料に基づき直接配賦法により製造部門に配賦している。補助部門費配賦表の(①)、(②)に当てはまる数値の組み合わせのうち、最も適当なものを下の解答群から1つ選び、記号で答えよ。

[資料]

	合計	切削部	組立部	動力部	修繕部	工場事務部
動力消費量	800kwh	400kwh	200kwh	—	100kwh	100kwh
従業員数	40人	10人	20人	4人	4人	2人
修繕回数	20回	12回	6回	2回	—	0回

補助部門費配賦表

(単位:円)

費目	配賦基準	合計	製造部門		補助部門		
			切削部	組立部	動力部	修繕部	工場事務部
部門費		1,500,000	300,000	180,000	600,000	300,000	120,000
動力部	動力消費量		※	※			
修繕部	修繕回数		※	※			
工場事務部	従業員数		(①)	※			
製造部門費		1,500,000	※	(②)			

[解答群]

ア. ① 30,000	② 560,000	イ. ①40,000	②560,000
ウ. ① 30,000	② 990,000	エ. ①40,000	②990,000

問3 負債の記述について、最も適当なものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 役員賞与引当金、退職給付引当金は流動負債に分類される。
- イ. 流動負債と固定負債の分類基準は、1年基準のみである。
- ウ. 備品・有価証券・消耗品などを買い入れた場合の未払額のように、本来の営業取引以外の取引から生じた債務を未払費用という。
- エ. 負債とは、企業が債権者に対して現金などの経済的資源を引き渡すなどの義務のことをいう。

問4 A商店（個人企業 会計期間は令和7年1月1日から令和7年12月31日）は、次の決算整理事項から下の精算表を作成した。精算表の（①）、（②）に当てはまる数値の組み合わせのうち、最も適当なものを下の解答群から1つ選び、記号で答えよ。ただし、同じ数字には同じ金額が入る。

〔決算整理事項〕

- (a) 期末商品棚卸高 ¥5,000
 (b) 貸倒見積額 売掛金残高の3%と見積もり、貸倒引当金を設定する
 (c) 備品減価償却高 ¥500（直接法）

精算表
 令和7年12月31日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金預金	8,400							
売掛金	9,600							
貸倒引当金		120						
繰越商品	5,200							
備品	4,860							
買掛金		4,850						
資本金		10,000						
売上		48,200						
仕入	32,700				(①)			
支払家賃	1,600							
雑費	810							
	63,170	63,170						
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
当期純利益					(②)			(②)

〔解答群〕

ア. ① 32,500	② 12,222	イ. ① 32,900	② 12,222
ウ. ① 32,500	② 12,622	エ. ① 32,900	② 12,622

問5 Y社は原価計算方式として標準原価計算を採用している。標準原価差異は月ごとに損益計算に反映させており、その金額を売上原価に賦課する。次の資料にもとづいて、下の設問に答えよ。

〔資料〕

1. 製品1個当たりの標準原価

直接材料費	1,200 円/kg	×2.0 kg	2,400 円
加工費	1,600 円/時間	×0.5 時間	800 円

2. 当月の生産・販売実績

月初仕掛品	0 個	月初製品	300 個
当月着手	<u>2,000</u> 個	完成品	<u>1,800</u> 個
合計	2,000 個	合計	2,100 個
月末仕掛品	<u>200</u> (40%) 個	月末製品	<u>200</u> 個
完成品	<u>1,800</u> 個	販売品	<u>1,900</u> 個

(注) 材料はすべて工程の始点で投入している。() 内は加工費の進捗度である。

3. 当月の原価実績

製造費用

直接材料費	4,760,000 円
加工費	1,551,000 円

〔設問〕

- (1) 月末仕掛品の標準原価を求めよ。
- (2) 原価差異を求めよ(差益の場合は+、差損の場合は-の符号をつけて示せ)。

問6 有価証券の記述について、最も適当なものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア。「その他有価証券」は、直ちに売却する意図があるか否かは必ずしも特定できないため、時価をもって貸借対照表価額とすることは許されない。
- イ。「満期保有目的債権」のうち、市場価格のあるものについては、時価がわずかでも下落したときは、時価をもって貸借対照表価額とし、評価差額は当期の損失として処理しなければならない。
- ウ。購入した有価証券の取得価額は、買入代価の額に購入手数料など購入のために要した費用を加えた額であり、たとえ重要性の乏しい軽微な費用でもすべて取得原価に含めなければならない。
- エ。社債は、株式とは異なり負債であるので、一定額の社債利息を支払い、一定の期限に償還(返済)しなければならない。

問7 企業会計原則の記述について、最も適当なものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 真実性の原則は、企業の財政状態及び経営成績に関して、真実な報告を提供するものでなければならないとするもので、一つの会計事実について唯一の結果しかないという絶対的なものが求められている。
- イ. 正規の簿記の原則は、すべての取引につき、正規の簿記の原則に従って、正確な会計簿記を作成しなければならないとするもので、客観的な証拠にもとづいて、取引をもれなく正確に記録した複式簿記による記帳が求められている。
- ウ. 保守主義の原則は、企業の財政に不利な影響を及ぼす可能性がある場合には、これに備えて適当に健全な会計処理をしなければならないとするもので、主観的な見積りや判断をとまなう会計処理において、収益と資産については控えめに計上し、費用と負債については積極的に計上したほうが債権者や株主にとっては望ましいという、企業経営上の実務的要請によるものである。
- エ. 継続性の原則は、その処理の原則及び手続きを每期継続して適用し、変更してはならないとするものであり、いったん採用した処理の原則及び手続きは、財務諸表の期間比較ができなくなるので、いかなる場合でも変更できない。

5 以下の各問いに答えよ。

問1 横 2,100 ピクセル、縦 1,500 ピクセルで、フルカラー画像 (24 ビットカラー) のデータ量として、最も適当なものを1つ選び、記号で答えよ。ただし、1MB=10⁶B とする。

ア. 0.945MB イ. 7.56MB ウ. 9.45MB エ. 75.6MB

問2 IP アドレスが「182.20.11.20」と設定されているコンピュータについて、同じネットワークに属するコンピュータとして、最も適当なものを1つ選び、記号で答えよ。ただし、すべてのコンピュータのサブネットマスクは「255.255.255.0」とする。

ア. 255.255.11.20 イ. 255.255.255.21
ウ. 182.20.12.21 エ. 182.20.11.47

問3 プレゼンテーションの内容 (本題) の構成について、次の文章を表す構成の方法として、最も適当なものを下の解答群から1つ選び、記号で答えよ。

最初に、紹介するものやサービスの概要・要約を伝え、次にそれに関する詳細を説明し、最後にまとめて要点を念押し印象づける方法で、各項目で同じことを3回繰り返すことや実例、エピソードをまじえて伝えることで、より伝わりやすいプレゼンテーションになる。

〔解答群〕

ア. 三段論法 イ. 起承転結 ウ. PREP 法 エ. SDS 法

問4 マルウェアについて、次の説明文のうち最も適当なものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア. コンピュータウイルスとは、標的の重要なファイルなどの情報資産を勝手に暗号化し、情報資産の持ち主がアクセスできないような状況にするとともに、復号する鍵と引き換えに金銭の要求を行うマルウェアをいう。
- イ. ボットとは、感染したコンピュータで攻撃者の指示を待ち、遠隔操作により悪意ある動作を行う。複数のボットを管理する司令サーバに対して攻撃者が指示を出すと、いっせいに標的に対してサイバー攻撃を行う。
- ウ. ランサムウェアとは、単体で悪意ある動作を実行するマルウェアで、社内ネットワークなどに進入すると、自分で複製を作成し、ほかのコンピュータに感染する自己増殖機能もある。添付ファイルなどで送り付けられたり、Webページの閲覧時に感染したりするケースがある。
- エ. ワームとは、正常なプログラムファイルなどに寄生虫のようにはいり込んで組み込まれることにより、不正なプログラムとして実行したり、ほかのコンピュータに感染したりするソフトウェアである。

問5 ビジネスにおける情報共有の目的について、次の文の（①）～（④）に入る語句の組み合わせとして、最も適当なものを下の解答群から1つ選び、記号で答えよ。ただし、同じ数字には同じ語句が入る。

情報共有とは、社員が個々に持っている情報を、社内などの（①）全体で共有することである。情報を（①）全体で共有することは、その情報を活用して個々の（②）だけでなく、（①）全体の（②）を高めることにつながる。情報共有する目的には、大きく分けて二つの側面がある。

情報を共有することで、伝達ミスや記録もれのようなむだをはぶくことができ、（③）に業務を進めることができる。

（④）とは、企業にとって有益な個人が持つ知識や経験のことで、社員が持つ専門性や長期にわたる業務経験は、企業にとって財産であり共有することの意味は大きい。

〔解答群〕

ア. ①事業	②能力	③効率的	④ナレッジ
イ. ①事業	②生産性	③主体的	④ノウハウ
ウ. ①組織	②能力	③主体的	④ノウハウ
エ. ①組織	②生産性	③効率的	④ナレッジ

問6 次の「売上表」と「単価表」から、実行結果を抽出するためのSQL文として、最も適当なものを下の解答群から1つ選び、記号で答えよ。

売上表			単価表		
精算番号	商品コード	販売数	商品コード	商品名	単価
1001	B501	2	A101	カステラ	2,000
1002	B503	3	A102	プリン	1,600
1003	A101	2	A103	ちゃんぽん	1,200
1004	A102	3	B501	ビードロ	800
1005	A101	3	B502	ステンドパネル	2,500
1006	A103	2	B503	キーホルダ	500
1007	A102	1			
1008	B502	1			
1009	A101	2			
1010	A103	4			

実行結果	
商品名	販売数計
カステラ	7
ちゃんぽん	6
プリン	4
キーホルダ	3
ビードロ	2
ステンドパネル	1

〔解答群〕

- ア. SELECT 商品名, SUM(販売数) AS 販売数計 FROM 単価表, 売上表
WHERE 売上表.商品コード = 単価表.商品コード
GROUP BY 商品名
ORDER BY SUM(販売数) ASC;
- イ. SELECT 商品名, SUM(販売数) AS 販売数計 FROM 単価表, 売上表
WHERE 売上表.商品コード = 単価表.商品コード
GROUP BY 商品名
ORDER BY SUM(販売数) DESC;
- ウ. SELECT 商品名, SUM(単価) AS 販売数計 FROM 単価表, 売上表
WHERE 売上表.商品コード = 単価表.商品コード
GROUP BY 商品名
ORDER BY SUM(販売数) ASC;
- エ. SELECT 商品名, SUM(単価) AS 販売数計 FROM 単価表, 売上表
WHERE 売上表.商品コード = 単価表.商品コード
GROUP BY 商品名
ORDER BY SUM(販売数) DESC;

問7 下の資料は、表計算ソフトウェアを用いて、あるファーストフード各支店売上高表から、順位表を作成後、売上トップ3の表を作成したものである。E3とI3に設定する式の 、 に当てはまる、最も適当なものを下の解答群から1つずつ選び、記号で答えよ。ただし、E3をコピーしてE4～E12にペーストし、I3をコピーしてI4～I5にペーストするものとする。

E3 := (C3, \$C\$3:\$C\$12)
 I3 := VLOOKUP(H3, , 2, FALSE)

〔資料〕

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	各支店売上高表				順位表			売上トップ3	
2	番号	支店名	売上高		順位	支店名		順位	支店名
3	001	長崎一号店	82,000		1	長崎一号店		1	長崎一号店
4	002	長崎二号店	43,000		5	長崎二号店		2	佐世保一号店
5	003	長崎三号店	57,000		3	長崎三号店		3	長崎三号店
6	004	長崎四号店	41,000		7	長崎四号店			
7	005	佐世保一号店	68,000		2	佐世保一号店			
8	006	佐世保二号店	36,000		10	佐世保二号店			
9	007	島原一号店	45,000		4	島原一号店			
10	008	島原二号店	39,000		9	島原二号店			
11	009	平戸店	42,000		6	平戸店			
12	010	諫早店	40,000		8	諫早店			

〔解答群〕

ア. INT	イ. FLOOR	ウ. RANK	エ. INDEX
オ. B3:C12	カ. \$B\$3:\$C\$12	キ. \$E\$3:\$F\$12	ク. E3:F12

問8 図Aは、県内のある学校で実施する修学旅行で、生徒が希望する行き先をアンケート調査したデータである。このデータを読み、処理条件にしたがって図Bのように集計結果を出力する。図Cの流れ図の(①)、(②)に当てはまる最も適当なものを下の解答群から1つずつ選び、記号で答えよ。

学生番号	希望コード
XX	X

【図A 入力形式】

希望コード	希望先	希望人数	備考
1	北海道方面	36	
2	東京方面	63	
3	京都方面	75	○
4	沖縄方面	54	
5	韓国方面	52	

【図B 出力形式】

[処理条件]

(ア) 図Aの希望コードと希望先との関係は下の表のとおりである。

希望コード	希望先
1	北海道方面
2	東京方面
3	京都方面
4	沖縄方面
5	韓国方面

(イ) 配列 Basho には生徒の希望先が次のように記憶されている。なお、希望コードは、配列 Basho の添え字に対応している。

配列

Basho	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	北海道方面	東京方面	京都方面	沖縄方面	韓国方面

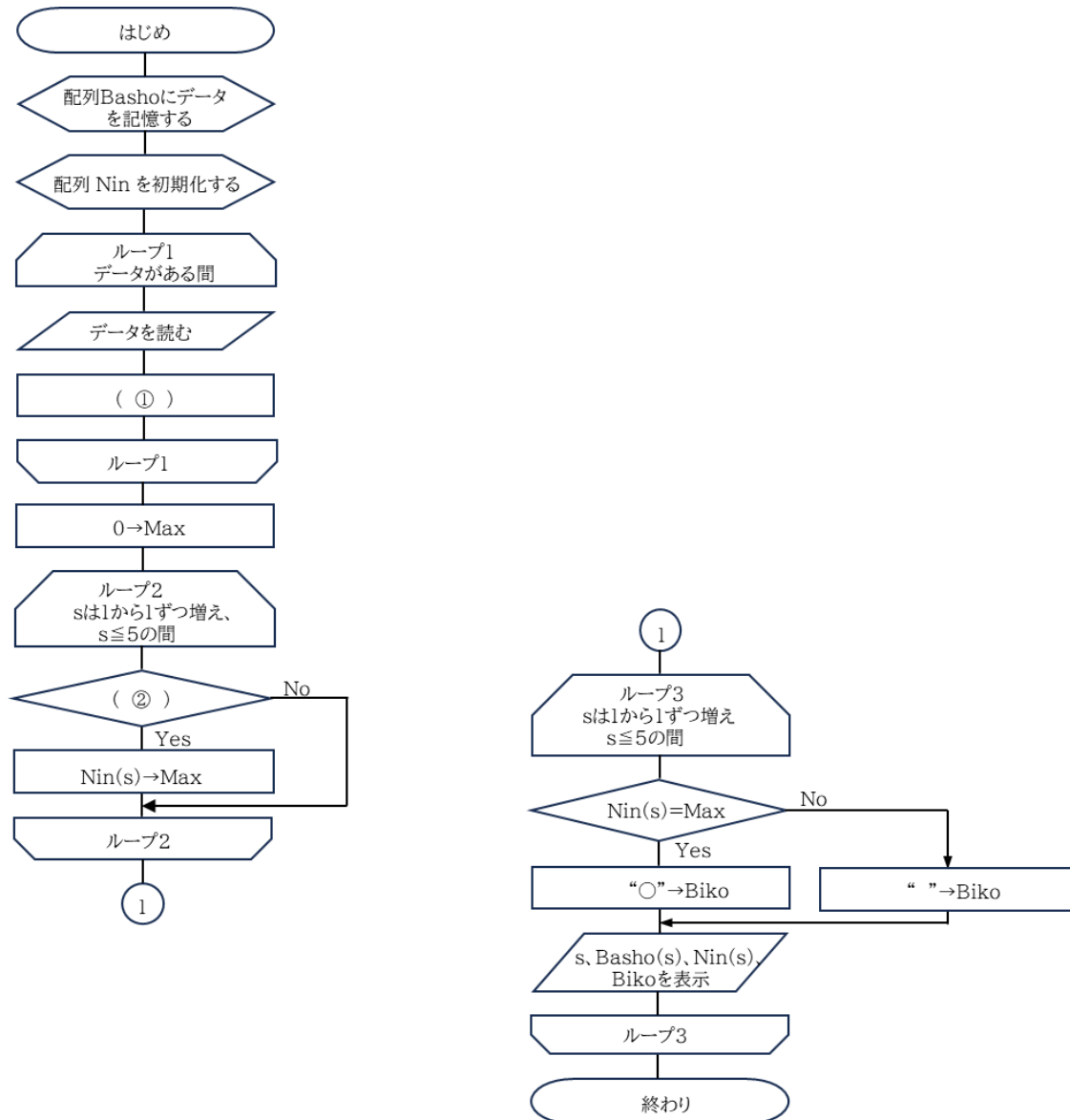
(ウ) 図Aのアンケートデータを読み、配列 Nin に希望コード別の人数を集計する。なお、配列 Nin は配列 Basho の添え字に対応している。

配列

Nin	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(エ) アンケートデータの読み込みがすべて終了したら、図Bのように、希望コード、希望先、希望人数と備考を表示する。備考は最も希望人数の多い場所に「○」を表示する。なお、最も希望人数が多い場所が複数ある場合、該当する備考すべてに「○」を表示する。

(オ) データにエラーはないものとする。



【図C 流れ図】

〔解答群〕

- | | |
|--------------------------------------|--|
| ア. $Nin(s)+1 \rightarrow Nin(s)$ | イ. $Nin(\text{希望コード})+1 \rightarrow Nin(\text{希望コード})$ |
| ウ. $Basho(s)+1 \rightarrow Basho(s)$ | エ. $Basho(\text{希望コード})+1 \rightarrow Basho(\text{希望コード})$ |
| オ. $Nin(s) < Max$ | カ. $Nin(s) > Max$ |
| キ. $Nin(\text{希望コード}) < Max$ | ク. $Nin(\text{希望コード}) > Max$ |

問9 表計算ソフトのマクロ言語によるプログラミングについて、次の処理内容を読み、下の設問に答えよ。

処理内容

ある農園では、びわは1個320円、桃は1個250円で直売している。ただし、5個まとめて購入すると、びわは1500円、桃は1200円に値引きされる。

ある日の販売数の入力データ（CSVファイル）を読み込み、実行結果のように売上金額を計算する。


【入力データ】

〔ファイル形式〕

項目名	お客様番号	びわ販売数(個)	桃販売数(個)
データ型	整数	整数	整数

※ 入力データは100件以内である。

〔ファイル名〕 Hanbaikosu.csv



【実行結果】

	A	B	C	D
1	No	びわ販売数(個)	桃販売数(個)	売上金額(円)
2	1	10	10	5400
3	2	20	0	6000
4	3	3	3	1710
5	4	20	5	7200
6	5	15	15	8100
7	6	4	2	1780
8	7	2	5	1840
9	8	25	0	7500
10	9	5	5	2700
11	10	30	6	10450
12				
13				
14				

※ 上図はプログラムで集計した結果を表計算ソフトのワークシート上に出力したもの

〔設問〕 プログラム中の ①、 ② に入る適切なプログラムコードを解答群から1つずつ選び、記号で答えよ。

【プログラム】

```
Option Explicit
Sub uriagekeisan ()
  Open "c:\data\Hanbaikosu.csv" For Input As #1
  Dim buf As Variant
  Dim data As Variant
  Dim hairetsu (100,3) As Integer
  Dim x As Integer, y As Integer, z As Integer
  Dim m As Integer, n As Integer, o As Integer
  Dim p As Integer, q As Integer
```

```

=====CSV ファイル読み込み=====
x = 0
Do While Not EOF (1)
  Line Input #1, buf
  Data = Split (buf, “,”)
  For y = 0 To 2
    Hairetsu (x, y) = data (y)
  Next y
  x = x + 1
Loop
z = x - 1
Close #1
=====売上計算=====
x = 0
Do While x <= z
  m = Int (hairetsu (x,1) / 5)
  n = hairetsu (x,1) Mod 5
  o = Int (hairetsu (x,2) / 5)
  p = hairetsu (x,2) Mod 5
  q = m * 1500 + n * 320 + o * 1200 + p * 250
  hairetsu 
  x = x + 1
Loop
=====シート「実行結果」に出力=====
Sheets (“実行結果”).Select
Cells (1, 1) = “No”
Cells (1, 2) = “びわ販売数(個)”
Cells (1, 3) = “桃販売数(個)”
Cells (1, 4) = “売上金額(円)”
x = 0
Do While x <= z
  For y = 
    Cells (x + 2, y + 1) = hairetsu (x, y)
  Next y
  x = x + 1
Loop
End Sub

```

〔解答群〕

ア. (x,1) = q	イ. (x,2) = q	ウ. (x,3) = q	エ. 0 To 3
オ. 0 To 4	カ. 1 To 3	キ. 1 To 4	

高校 商業	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

令和9年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

1 18点 (問1・問2・問3 各2点、問4①~③・問5 各1点、問6・問7・問8・問9 各2点)

問1	イ			問2	ア	オ	キ
問3	ウ	エ	キ				
問4	①	ア	②	イ	③	エ	
問5	ウ			問6	イ		
問7	39,000円			問8	2,181,300円		
問9	13.5%						

2 24点 (問1 各1点 問2 各1点 問3・問4・問5・問6・問7・問8・問9・問10 各2点)

問1	①	エ	②	イ	③	キ	④	ク
問2	①	エ	②	ク	③	ウ	④	キ
問3	ウ			問4	イ			
問5	エ			問6	イ			
問7	ウ			問8	エ			
問9	エ			問10	イ			

高校 商業	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

令和9年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

3 18点(問1 2点、問2 各1点、問3・問4・問5・問6・問7・問8 各2点)

問1	イ	問2	イ	エ	カ	キ
問3	ウ	問4	イ			
問5	エ	問6	ア			
問7	ア	問8	エ			

4 20点(問1(1)・② 各2点、問2 3点、問3 2点、問4 3点、問5(1)・②)・問6・問7 各2点)

問1	(1)	①	ウ	(2)	②	カ
問2	イ			問3	エ	
問4	イ					
問5	(1)	544,000円		(2)	-7,000円	
問6	エ			問7	ウ	

高校 商業	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

令和9年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

5

20点(問1・問2・問3・問4・問5・問6 各2点、問7①・②・問8①・② 各1点、問9①・② 各2点)

問1		ウ	問2		エ
問3		エ	問4		イ
問5		エ	問6		イ
問7	①	ウ	②		キ
問8	①	イ	②		カ
問9	①	ウ	②		エ